

文化

ソロモン諸島は、父系社会と母系社会が共存する独特の社会構造となっています。伝統的なリーダーシップには、代々受け継がれる首長制度と、実力と功績によって地位を得る『ビッグマン』制度の二つの形式があります。『ワントク』（同じ言葉を話す者同士）の絆は、ソロモン諸島の社会に深く根付いた文化で、同じ言葉を話し、血縁関係で結ばれた人々の間に育まれる共同体意識や家族の絆の強さを表しています。この豊かな社会的つながりの中で、ワントクのメンバーは拡大家族の一員としての役割を全面的に受け入れ、互いに惜しめない支援と助け合いの精神を大切にしています。

この文化的アイデンティティの核となるのがピジン語で「カスタム」と呼ばれる概念です。これは単なる慣習以上の、深い伝統と土地への結びつきを表しています。

島民の多くは敬虔なキリスト教徒ですが、特に大きな島々の緑深い内陸部に暮らす人々は、先祖から受け継いだ伝統を大切に守り続けています。こうした信仰と伝統文化の美しい調和が、彼らの生活に豊かな彩りを添えています。

ソロモン諸島 — 投資先としての魅力

ソロモン諸島は、今後の開発が見込まれる可能性に満ちた魅力的な投資先です。豊富な天然資源と活力ある海洋生態系を有するこの国は、造形が深い投資家にとって真の宝庫と言えるでしょう。また、様々な分野での革新と成長を担う、若く活力ある人材も揃っています。投資と発展のための肥沃な大地が待つソロモン諸島。その魅力に触れてみませんか。

主な投資機会

投資機会を提供する重要なセクターとしては、観光、製造業、漁業、農業、鉱物採掘、インフラ、建設、及びその他様々なサービス業などがあります。成長とイノベーションの可能性に満ちているこれらの分野は、投資家の皆様にとって大きな機会となるでしょう。



動物と植物

ソロモン諸島の中心部は火山起源の島々に構成されており、流れの速い川や小川が張り巡らされています。これらの島々には、普通種のベニインコ（カーディナルローリー）を含む、固有種の動植物が生息しています。現在、合計で4500種類の植物と173種類の鳥類が推計されていますが、鳥類の中には国の中央部及び西部の地方のいくつかの島で温泉砂地に巣を設ける有名なツカツクリ（メガボード）も含まれます。世界遺産に登録されているレンネル島だけでも、10種類の植物、4種類の鳥類、9種類の鳥の亜種が固有種として特定されています。また、クレイトの名前で知られる海水ウミヘビも固有種です。



©Expo 2025

©2025 Solomon Islands. All rights reserved.
Solomon Islands holds the rights or permission
for usage of all material used.



ソロモン諸島

訪問ガイド

ソロモン諸島について

位置

ソロモン諸島は東経160度、赤道から南緯9度に位置し、992の島で構成されています。内147が有人島です。列島が広がる面積は461000平方キロメートル(24万9千平方海里)で、内28446平方キロメートル(10,938平方マイル)が陸地です。チョイスル島、ニュージョージア島、サントイザベル島、ガダルカナル島、マライタ島、マキラ島が主要6島とされています。地図上では、ソロモン諸島はオーストラリアの北東に位置しています。

宗教

ソロモン諸島の多彩な文化の中で、人口の95%がキリスト教徒であることを誇りとしています。内、35%が英国国教会で筆頭、続いてローマ・カトリックが19%、南洋福音派が17%、合同メソジスト教会が11%、セブンスデーアドベンチストが10%となっています。また当地の宗教的広がりには豊かかつ多様で、バハイ教、エホバの証人、ヒンズー教、イスラム教などとも調和して共存しています。同時に、祖先崇拝やアニミズムを信仰し続けている共同体もあります。ソロモン諸島の国民は情熱と誠実さをもってそれぞれ信仰しているため、自らの信仰を明らかにしない人々に失望する傾向があります。この心からの信仰心が、島々の独自の文化的アイデンティティを形作っています。



ソロモン諸島の地理



国民

メラネシア群島の中心に位置するソロモン諸島は、人類の豊かな歴史の一端垣間見ることができる魅力的な島々です。近隣のバブアニューギニア、バヌアツ、ニューカレドニア、フィジーと同様に、当初、ソロモン諸島は、東南アジアからやって来た勇敢な狩猟・採民族が定住した地でした。次いで海洋の魅力が、海洋民族をこの地に引き寄せ、文化的モザイクが拡大しました。

考古学者達は、興味深い工芸品、ラピタの名称で知られる比類なき種類の陶器を発見しましたが、これは東太平洋のポリネシアへの最初の定住者とメラネシア、特にソロモン諸島を結びつける発見物でした。このつながりは、太平洋を渡る人類の壮大な移住物語に於いてソロモン諸島が重要な中継地点だったことを明らかにしています。

現在もソロモン諸島の人口の70～80%は、都会の喧騒から離れた場所に点在する小さな村や集落で自給自足の生活を営んでいます。これらのコミュニティでは、伝統と豊かな自然環境に根ざした活気あふれる文化と生活様式が今も息づいています。

政府

ソロモン諸島は、イギリス王室の君主を国家元首とし、総督がその代理を務めるウェストミンスター型の民主主義体制を採用しています。政府の舵取りは議会で選出された首相が行い、充実した閣僚チームとともに国を率いています。ホニアラ市を見下ろす丘の上に建つ50議席の国会議事堂では、国の将来を決める重要な議論が日々交わされています。この活気ある民主主義制度では、一選挙区一議席制が採用されており、国民一人ひとりの声が確実に政治に反映されるよう配慮されています。



気候

温暖な熱帯気候のソロモン諸島は、年間を通じて平均気温が約29℃と快適です。5月から10月の乾季には特有の美しさを見せる島々は、年間平均2,520mmもの豊富な雨に恵まれ、その鮮やかな自然景観を育んでいます。

